

総合演習I

担当: 佐藤

計算機実習III

第5回



sato@ise.aoyama.ac.jp

2019/5/14



課題内容(1)

- 課題

- ▶ 既存のロゴを模写したスケッチの作成

- 要件

- ▶ 盗作NG

- 既存のコードを部分的にコピーすることは可．ただしその場合，「**コピーした部分**」と「**コピー元の情報(書籍，URL)**」を必ずレポートに記載すること
- コードの大部分がコピーである場合，スケッチの出来がよくても点数が低くなる

- 注意

- ▶ 作業量的に今日の実習中に作品が完成することは考えにくい．今後，主に自宅のPCで作業することを予定している者は，演習室のPCのディスプレイの解像度と自宅のPCのディスプレイの解像度の違いを考慮してウィンドウサイズを決定すること



課題内容(2)

- 提出物(以下の①～③をまとめたzipファイル(ファイル名: xyyyyyyyy.zip))
 - ① 模写するロゴの画像ファイル
 - ② 作成したスケッチ
 - メインのファイル名: xyyyyyyyy.pde
 - dataフォルダ: スケッチの実行に必要なすべてのファイルを含める
 - ③ レポート(タイトル: “作成したスケッチのアピールポイント”)
 - ファイル名: xyyyyyyyy.docx
- 提出先
 - ▶ CoursePower
 - 「第5回」→「総合演習I提出先」
 - 100Mバイトまで提出可(zipファイルのサイズを100Mバイト以下に収めること)
- 提出期限
 - ▶ 6/18(火)0:00(第10回の講義日になるまで)



課題内容(3)

- **課題の取り組み方**

- ① web上から模写するロゴを探す
- ② 模写するロゴの画像データをダウンロード
- ③ 課題作成

- **評価**

- ▶ スケッチの「完成度(作り込み具合)」、「独自性」
- ▶ レポートの「体裁」、「内容」

サポートツール



sato@ise.aoyama.ac.jp



サポートツールの使い方(1)

概要

- vertex(), curveVertex()を用いる複雑な図形の描画をサポート
- 入手先
 - ▶ CoursePower
 - 「第5回」→「サポートツール」
- 準備
 - ▶ 模写するロゴの画像ファイルをサポートツールのdataフォルダ内にコピー
 - 特に意図なく画像ファイルの余白が多い場合、「ペイント3D」などでトリミングして余白を消しておくこと



サポートツールの使い方(2)

キー操作

キー	機能
i	背景画像の変更
p	画像拡大(1ピクセル)
P	画像拡大(10ピクセル)
m	画像縮小(1ピクセル)
M	画像縮小(10ピクセル)
u	ウィンドウ拡大(1ピクセル)
U	ウィンドウ拡大(10ピクセル)
d	ウィンドウ縮小(1ピクセル)
D	ウィンドウ縮小(10ピクセル)
f	ウィンドウサイズをディスプレイサイズにする
r	ウィンドウサイズと画像サイズをデフォルト(600×600)にする
x	ウィンドウの縦横比を変更(1:1⇔画像サイズに合わせる)
s	画像サイズとウィンドウサイズをコンソールに表示
c	曲線を描くコードをコンソールに表示
v	直線を描くコードをコンソールに表示
←	選択ノードを1つ前に移動
→	選択ノードを1つ後に移動



サポートツールの使い方(3)

マウス操作

- **マウス操作機能一覧**

- ▶ **移動:** 選択ノードをマウスカーソルの位置へ移動
- ▶ **左ボタン:** マウスカーソルの位置にノードを追加
 - 末尾に追加
- ▶ **右ボタン:** 選択ノードまでのノードを削除
 - 末尾ノードから削除